

工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工事名 ○様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 行橋市 南泉

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



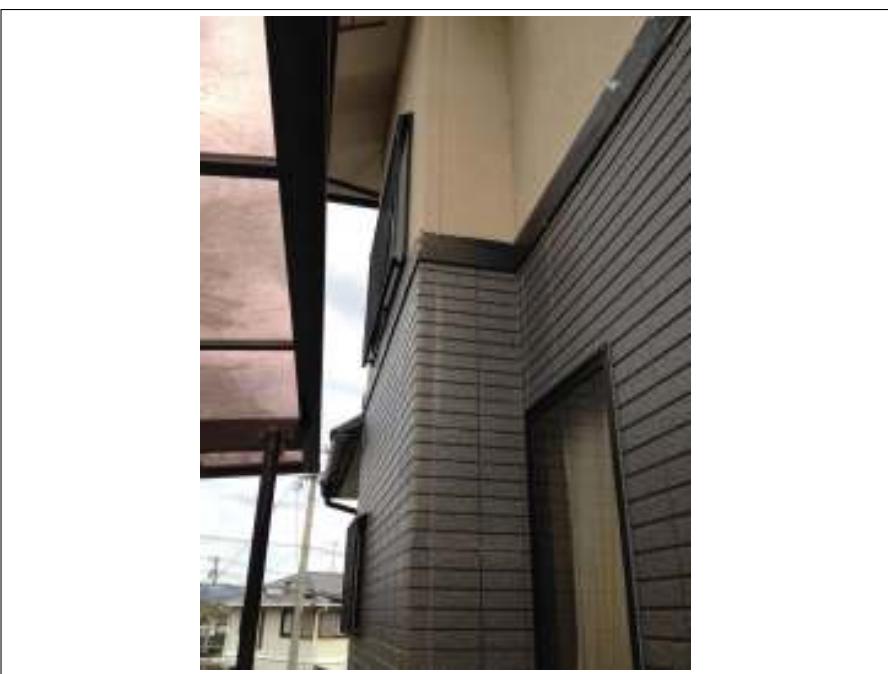
外観



外観



外観



外観



屋根

この素材はセメント: アスベスト(又
はハルフ 繊維)が85:15で作られ
ています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗
装を焼き付けており、7年ぐらい経
過すると表面の防水効果が低下し、
だんだん反りや割れが生じてきま
す。



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合、処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



屋根

同上



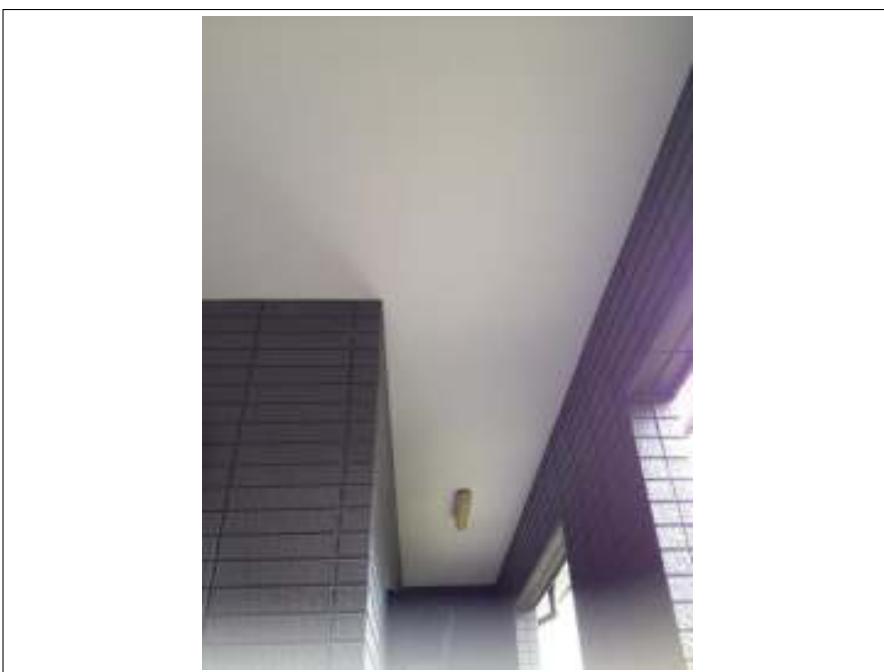
屋根

同上



屋根

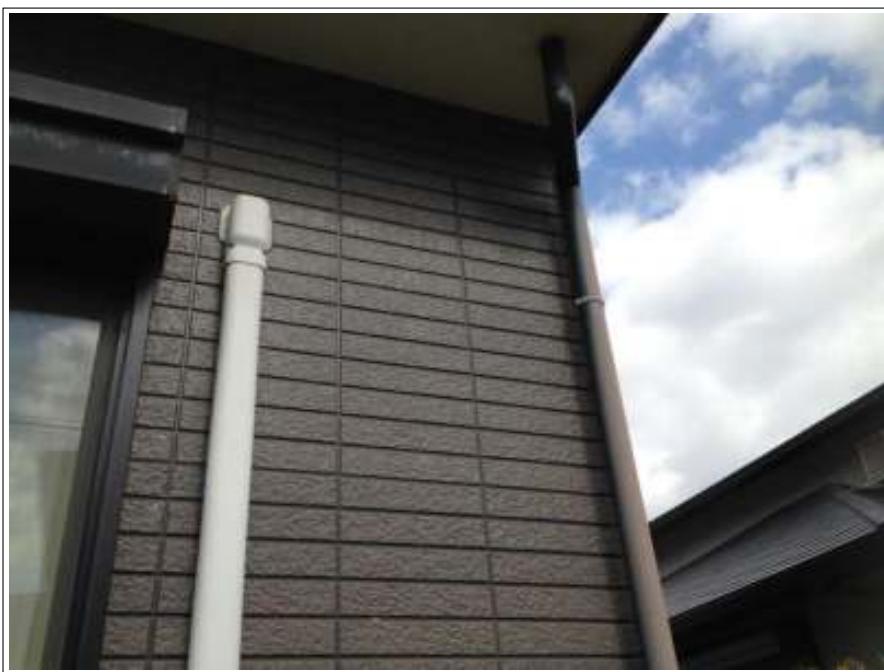
同上



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすること
がありますので、塩ビ専用の下塗り
をおこない塗装をしていきます。



帶

こちらはかなり水分を含み劣化しています。

こちらは取り替えをおこないます。



シャッター

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



シャッター

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



換気フード

同上



小庇

同上



土台水切り

同上



鉄部

同上



ベランダ 防水部

経年劣化しています。

雨漏れの原因につながりますので、
この部分も塗装をしていきます。



ベランダ部 防水部

同上



外壁 劣化部

劣化が見られます。

剥離と凹凸があり、このまま塗装をしても仕上りに支障がありますので、パテ等で補修をおこない、塗装をしていきます。



外壁 劣化部

同上



シーリング劣化部

劣化している部分があります。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し軀体・ボードの痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



シーリング劣化部

同上

シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分があります。

サッシ廻りは全面劣化は打ち増しをおこないます。



サッシ廻りシーリング劣化部

同上



ベランダ カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にいくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



ベランダ カビ発生部

対処方法

いくら高压洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

認定証明書

外装劣化診断士

認定番号：13100230

氏名 戸高 勇樹 様

外装劣化診断士認定試験の結果、基準を満たし合格したことを証します。

認定年月日：2013年1月10日



一般社団法人住宅保全推進協会